
蓄電システムのバリューモデルを今春に発売 ～大幅なコストダウンを実現～

株式会社 YAMABISHI(本社：東京都太田区、CEO：蓮池 一憲)は、公共産業向けリチウムイオン蓄電システム YRW シリーズに新たなラインナップを加え、今春に発売いたします。



<製品イメージ画像>

▼蓄電システム YRW シリーズバリューモデル お問い合わせ URL▼

<http://www.sotuu.net/yamabishi/campaign201702.html>

高機能・高性能な PCS(パワーコンディショナー)はそのままに、コストパフォーマンスに優れた蓄電池をご用意いたしました。本蓄電池は海外メーカー製となり、蓄電池単体での比較として、従来品から約 50%のコストダウンを実現する見込みです。

系統出力変動対策、防災・自家消費意識の高まり、スマートエネルギー化に伴い、蓄電システムの需要は大幅に増加しております。しかしながら、リチウムイオン蓄電池の高コストを主な要因として、普及が遅れているのが実情です。今回のバリューモデルを通じて、より多くのお客様へ蓄電システムをお届けできるよう貢献してまいります。

◆主な用途

再エネ導入に伴う系統出力変動対策(短周期・長周期)
バーチャルパワープラント(VPP)における需給調整
(長時間)バックアップを目的とした停電・防災対策
自家消費システムにおけるピークカット・シフトによる電力料金の削減

◆特長

- ・ PCS は 30kW～200kW までの豊富なラインナップ
- ・ 単相 3 線(30kW モデル)、三相 3 線(30kW～200kW モデル)対応可能
- ・ リチウムイオン蓄電池はコストパフォーマンスに優れた海外メーカー製
- ・ 蓄電池ユニットは 39kWh 単位で最大 1,248kWh まで増設可能(PCS30kW～50kW モデル)
78kWh 単位で最大 2,496kWh まで増設可能(PCS100kW～200kW モデル)
- ・ DC リンク方式のため再エネの出力変動による影響を抑え、高いトータル効率を実現
- ・ 「WEB みえる化システム」標準搭載により発電量や電力使用量の見える化が可能
- ・ 豊富な計測項目により電力需給状態を的確に把握可能
- ・ UPS グレードの自立運転機能を装備(PCS200kW モデルは除く)
- ・ 停電時には無瞬断で自立運転に移行(三相機種、単相機種は半サイクル以内)
- ・ 豊富なオプション(屋外対応、系統受電点の電力監視による不要な RPR 動作の防止、スコットトランス等)

◆参考価格

型式 : YRW-350-50SH-3PV2-78JH
電圧 : 三相 3 線 200V 系
出力 : 50kW
蓄電池 : 78kWh
太陽光 : 50kW 程度まで接続可能
参考価格 : 20,000,000 円(税抜)

◆株式会社 YAMABISHI 会社概要

商号 : 株式会社 YAMABISHI (<https://www.yamabishi.co.jp>)
代表者 : CEO 蓮池 一憲
本社所在地 : 東京都大田区大森北 2-4-18
設立年月日 : 1958 年 3 月
主な事業の内容 : 電源装置の開発・製造・販売
資本金 : 3,000 万円

◆本リリースに関するお問い合わせ

株式会社 YAMABISHI 東京営業所 Tel : 03-3767-8861 mail:y-sales@yamabishi.co.jp